# 仕様何書 対象形式:R7D-RS4

	お客様記入		弊社記入	営業	能部門
Ī	形 式		JOB No.	承認	作
Ī	貴社名		機番		
Ī	お名前		営業担当		
	注 番				

各設定項目に対して標準設定値から変更がある場合、設定可能範囲でご指定下さい。 標準設定値とは、一切のご指定がない時の値です。

製造	部門		
確認 設定			
機番			

作成

#### ■伝送速度設定(B.RATE スイッチ)

項目名称	設定内容	標準設定値	弊社記入欄
	□ 125kbps(0)		□ <i>**</i> *=***
伝送速度	□ 250kbps(1)	1951-1 (0)	
<b>仏区</b> 述及	□ 500kbps(2)	125kbps (0)	□ 確認済
	□ 自動追從(3)		

### ■ノードアドレス設定(NODE ADD. スイッチ)

設定範囲	ご指定出荷時設定値	標準設定値	弊社記入欄
1~63		0	□ 確認済

# ■増設ユニットの有無(SW1-1、2)

項目名称	設定内容	標準設定値	弊社記入欄
	□ 増設なし(OFF、OFF)		
増設ユニット	□ 接点入力 8点/16点(ON、OFF)	増設なし(OFF、OFF)	□ 確認済
	□ 接点出力 8点/16点(OFF、ON)		

### ■温度センサ設定(一括)

項目名称	設定内容	標準設定値	弊社記入欄
	☐ Pt 100 (JIS'97、IEC)		
	☐ Pt 100 (JIS'89)		
	☐ JPt 100 (JIS'89)		
温度センサ設定	□ Pt 50 Ω (JIS'81)	D+ 100 (HC'07 HCC)	□ ##⇒刃汶
(*1)	□ Ni 100	Pt 100 (JIS'97, IEC)	□ 確認済
	□ Cu 10 (25°C)		
	□ Cu 50		
	□ コンフィギュレータ設定		

<sup>\*1、</sup>各チャネルを個別で設定する場合、「コンフィギュレータ設定」を選択し、各チャネルの温度センサをご指定下さい。

### ■温度センサ設定(個別)

チャネル	測温抵抗体	ご指定出荷時設定値	標準設定値	弊社記入欄
入力 0	Pt 100 (JIS'97,IEC) Pt 100 (JIS'89),		Pt 100 (JIS'97, IEC)	□ 確認済
入力1	JPt 100 (JIS'89), Pt 50Ω (JIS'81),		Pt 100 (JIS'97, IEC)	□ 確認済
入力2	Ni 100, Cu 10 (25℃),		Pt 100 (JIS'97, IEC)	□ 確認済
入力3	Cu 50 未使用(*2)		Pt 100 (JIS'97, IEC)	□ 確認済

<sup>\*2、</sup>未使用の場合、標準設定値となります。

### ■温度単位設定(個別)

チャネル	ご指定出荷時設定値	標準設定値	弊社記入欄
入力 0	$\square$ °C $\square$ K	$^{\circ}\!\mathrm{C}$	□ 確認済
入力1	□ °C □ K	$^{\circ}$	□ 確認済
入力 2	□ °C □ K	$^{\circ}$	□ 確認済
入力3	$\square$ $^{\circ}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$	$^{\circ}$	□ 確認済

### ■バーンアウト設定

項目名称	設定内容	標準設定値	弊社記入欄
バーンアウト	□ 上方	上方	□ 確認済
7,-2791	□ 下方	1.77	□ 推论仍

# ■変換速度

項目名称	ご指定出荷時設定値	標準設定値	弊社記入欄
変換速度	□ 250ms	250ms	□ 確認済
<b>多换</b> 压及	□ 500ms	250ms	□ 推论仍

注)本器は、標準設定で、入力信号を温度実量値×10倍の数値に変換します。 それ以外の数値に変換したい時のみ、下記の項目をご指定下さい。

- ・「変換データ設定」の「スケーリング値」を選択。
- ・「温度レンジ設定」にて、変換前の温度範囲を指定。
- ・「スケーリングデータ設定」にて、変換後の値の範囲を指定。

# ■変換データ設定

チャネル	ご指定出荷時設定値	標準設定値	弊社記入欄
7 + 0	□実量値×10 倍の整数	実量値×10 倍の整数	□ 確認済
入力 0	□スケーリング値	夫里他 × 10 倍の金数	
入力 1	□実量値×10 倍の整数	中国は110位の散料	□確認済
/\/\/\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	□スケーリング値	実量値×10 倍の整数	
入力 2	□実量値×10 倍の整数	中見体ン10 位の軟料	□ 確認済
<i>///// 2</i>	□スケーリング値	実量値×10 倍の整数	□ 堆砂街
入力3	□実量値×10 倍の整数	実量値×10 倍の整数	□ 確認済
	□スケーリング値		

# ■温度レンジ設定

チャネル	設定可能範囲	ご指定出荷時設定値	弊社記入欄
入力 0	表1参照	~	□ 確認済
入力1		~	□ 確認済
入力2		~	□ 確認済
入力3		~	□ 確認済

# [表 1]

測温抵抗体	設定可能範囲		
侧価控机件	$^{\circ}\!\mathbb{C}$	К	
Pt 100 (JIS'97, IEC)	-200 ∼ +850	74 ~ 1123	
Pt 100 (JIS'89)	-200 ∼ +660	74 ~ 933	
JPt 100 (JIS'89)	-200 ∼ +510	74 ~ 783	
Pt 50 Ω (JIS'81)	-200 ∼ +649	$74 \sim 922$	
Ni 100	-80 ∼ +250	194 ~ 523	
Cu 10 (25°C)	-50 ∼ +250	$224 \sim 523$	
Cu 50	-50 ∼ +150	224 ~ 423	

# ■スケーリングデータ設定

# 各チャネルのスケーリング値を設定

チャネル	設定可能範囲	ご指定出荷時設定値	標準設定値	弊社記入欄
入力 0	-32000 ∼ 32000	~	0 ~ 10000	□ 確認済
入力1	−32000 ~ 32000	~	0 ~ 10000	□ 確認済
入力2	−32000 ~ 32000	~	0 ~ 10000	□ 確認済
入力3	-32000 ∼ 32000	~	$0 \sim 10000$	□ 確認済

# ■通信設定

項目名称	設定可能範囲	ご指定出荷時設定値	標準設定値	弊社記入欄
通信タイムアウト時間	0~32767 (1 = 0.1 秒)		10 (1.0 秒)	□ 確認済
ステータス付加	OFF:ステータスなしON:ステータスあり		OFF:ステータ スなし	□ 確認済